

2011.12.1

風険消息 < 中国関連リスク情報 > 月刊12月号

< 2011 No.10 >

「風険消息 < 中国関連リスク情報 >」は、中国に拠点をお持ちの企業や中国の駐在員の方々向けにお届けするリスク情報誌です。「月刊」と「特別号」の2種類が発行され、「月刊」では、中国における種々のリスク(自然災害、法令違反、情報漏洩、労務リスク等)について、発行の前月に公表・報道された主要ニュース一覧と、ニュースに関連するお役立ち情報を簡潔に記載しています。また、「特別号」では、時節に応じた話題や、社会の関心が高いトピック等を取り上げて解説しています。

今月のお役立ち情報：中国で横行する手抜き工事

< 要旨 >

中国では建設・土木工事における手抜き工事が横行しており、建物や橋などの建造物が突然崩壊したり、短期間のうちに劣化する等の事例が多数発生しています。また、このような建造物の崩壊による事故で死傷者も多数発生しています。

< 概要 >

このような手抜き工事が横行していることは、中国国内でも「おから工程」(中国語では「豆腐渣工程」; Doufuzha Gongcheng)と呼ばれ、問題視されています。これは1998年に江西省において、建設直後の堤防が決壊した現場を視察した朱鎔基首相(当時)が、手抜き工事の実態を聞いた際に「豆腐渣工程」と言ったことに由来するようです。

2008年の四川大地震でも、多くの学校で校舎が倒壊した際に、その原因がおから工程によるものではないかという指摘がありましたので、ご記憶の方も多いのではないのでしょうか。

手抜き工事であることが明らかになった主な事例を次のページの表に示します。実際にはこれら以外にも、背景が確認されていないものの、完成後短期間のうちに突然崩壊したり、不自然な壊れ方をしたこと、手抜き工事ではないかと疑われている事例が多数存在します。公共工事での事例が多いものの、民間の建物でもこのような事例が見られるようになってきています。

多くの事例では、手抜き工事によって浮いた費用を関係者が着服したり、他の用途に使用されているようです。行政が関与する事例の場合、必要な基準を満たさないものを行政が黙認するかわりに、浮いた工事費用を官僚と建設業者が山分けするようなケースもあります。

また、施工業者側で元請け - 下請け - 孫請け - ...と続く委託関係の中で、下流になればなるほど厳しい取引条件となった結果、使用する建材や資材を減らしたり、粗悪品を使うなどの不正行為で、もしないと利益を出せなくなっているケースも少なくないようです。

このような手抜き工事が横行していることは、中国政府も問題視していますが、中国全土に渡って発生しているうえに、倒壊などの事故が発生しないと背後関係が分かりにくいこともあり、簡単には無くなりそうにありません。

事例の概要	原因・背景	報道時期
吉林省白山市の鉄道橋脚建設において、建設に関わった業者の契約関係等について問題があることが分かった。中央政府・鉄道部が検査したところ、安全基準を満たさない箇所が多数見つかったため、爆破撤去して工事をやり直すことになった。	資格を持たず鉄橋建設の経験もない個人が鉄橋建設の工事を担当した。 材料費を浮かせるために、土台部分にコンクリートを使わず、大小の石を敷き固めただけだった。	2011 年 11 月
南京と杭州を結ぶ寧杭高速鉄道で、鉄筋の量を実質的に減らす等の手抜き工事をしていたことが分かったため、工事を中断した。	鉄筋に張力をかけて引き延ばして使用した。その結果、もともと 8mm あった直径が 5.8～6.5mm 程度になり、強度が不足する状態になっていた。	2011 年 5 月
河北省石家荘市で建設中の、高さ 186m のテレビ塔が、強風で折れた。当時の風速は 20.8～24.4m/s で、常識的にはこのような被害をもたらす程の風速ではない。	市政府幹部と建設業者との間で不正な金銭授受があった。市政府幹部は基準に合わない手抜き工事を容認し、浮いた建設費の一部を受け取った。	2010 年 4 月
雲南省昆明市で、新空港の工事現場において、コンクリート流し込み作業を行っていた立体交差の陸橋が倒壊し、7 人が死亡、34 人が負傷した。	橋の鉄骨を規定量より減らしていた。	2010 年 1 月
上海で建設中の 13 階建てマンションが根こそぎ転倒した。	建設のために掘り出した土を、建設現場のすぐ近くに大量に積んだため、建物の基礎杭に対して水平方向に想定以上の力が加わった。建物の構造自体には問題はなかったと見られる。	2009 年 7 月
湖南省西部のミャオ族自治州で、建設中の沱江大橋が突然崩壊し、作業員ら 64 人が死亡し、22 人が負傷した。	橋桁が鉄筋を使用しない石づくりである等、設計に問題があった。 同州の公路局長をはじめ幹部職員が関与しており、刑事責任を問われている。	2008 年 6 月

<ここがポイント！>

事例の多くは公共工事に関係するもので、行政と建設業者との癒着が特に問題視されています。しかしながら民間の工事でも手抜き工事は発生しており、中国の建設業界における品質管理やコンプライアンス（基準を満たさない設計・施工、無免許の業者の使用、等）の問題も看過できません。したがって企業が工場などの事業所を建設する場合でも、このような手抜き工事にあわないための対策が必要と考えるべきでしょう。具体的には次のような対策が考えられます。

- (1) 信頼できる設計・施工業者を選定する。
- (2) 下請け・孫請け業者も含めて、設計・施工に関する契約関係を十分確認・把握する。特に、全ての業者が、必要な免許や資格等を保有していることを確認する。
- (3) 信頼できる人に施工現場を監督・監視してもらう。

また既存の建物に入居する場合、鉄筋コンクリートの壁や柱などの内部の状況（鉄筋の本数や間隔、

コンクリートの打ち込み状況等)をレーダー調査や超音波調査で調べることも可能ですが、一般にかなり高額のコストがかかります。したがって少なくとも、信頼できる設計・施工業者による建物であることを、可能な範囲で確認するのが望ましいと言えます。

リスク関連ニュース一覧(2011年10月15日~11月15日)

【災害】

- 新疆ウイグル自治区で、マグニチュード(M) 6.0、震源の深さ 10 キロメートルとされる地震が発生した。同自治区では前月だけでも、M3.0~5.0 の規模の地震が 8 回発生していた。
(11月1日 サーチナ)

【事件・事故】

- 貴州省貴陽市烏当区の養殖場の建設現場で、地中に埋まっていた迫撃砲弾 55 発が見つかった。
(11月15日 サーチナ)
- 陝西省西安市にあるビル 1 階の飲食店で大規模な爆発事故があり、9 人が死亡、30 人以上が負傷した。原因はプロパンガスボンベのガス漏れと見られる。
(11月14日 サーチナ)
- 吉林省吉林市で 9 日早朝、解放軍部隊から兵士 4 人が歩兵銃と弾丸を持って脱走したが、警察に身柄を拘束された。
(11月9日 AFP など)
- 雲南省の私庄炭鉱で 10 日、炭鉱内に突然ガスが激しく充満する事故が発生し、炭鉱内で作業中だった 43 人のうち、少なくとも 21 人が死亡した。
(11月11日 サーチナ)
- 河南省義馬市の千秋炭鉱で 3 日、落盤事故が発生して 75 人が巻き込まれ、翌日までに 4 人の死亡が確認された。掘削によって地盤の圧力が解放されたことで発生した地震が原因と見られる。
(11月5日 サーチナ)
- 貴州省福泉市で、大量の火薬(約 70 トン)を積んだトラック 2 台が、修理工場に入ったときに爆発し、死者 7 名、負傷者 200 名以上の大事故となった。
(11月2日 サーチナ)
- 重慶市内で、今年 60 歳になる男性が自作の銃をいじっていたところ、内部にあった火薬が爆発した。男性は 120 発程度の散弾を浴びたが、銃の威力が弱かったため一命を取りとめた。
(10月27日 サーチナ)
- 広東省仏山市の病院で、産婦人科の看護師が生まれたばかりの男の子を死産と勘違いしてゴミ袋に廃棄した。その後まだ生きていたことが分かり、緊急処置を受け元気になった。
(11月4日 AFP など)

- 天津から湖北省・漢口市行きの列車で、走行中に連結部分から出火する事故が発生し、上下線とも一時的に運転を見合わせる事態になった。事故の原因は調査中。
(11月2日 サーチナ)
- 福建省廈門(アモイ)発、浙江省寧波東行き的高速列車で、時速約200kmで走行中に、運転中の運転士が眠っていたことが乗客から指摘された。鉄道局はこれを否定している。
(11月8日 サーチナ)
- 上海市の地下鉄では10月13日から18日までの6日間で7回の故障が発生した。最近になり地下鉄路線を急速に拡張したことが故障多発の背景にあると指摘されている。
(10月19日 サーチナ)
- 中国品質協会と中質信評価センターは、中国の地下鉄業界に対する品質信用度の評価がBレベル(上から6番目、下から5番目のレベルに相当)だと発表した。
(10月31日 サーチナ)

【犯罪】

- 河北省唐山市で、ネズミ駆除薬を塗られた菓子を食べた8人が中毒を起こし、うち3人が死亡した。容疑者は既に逮捕されており、商売上のトラブルが動機と見られる。
(11月11日 サーチナ)
- 中国の180あまりの都市で、一斉に模倣品の取り締まりが行われ、偽ブランド品、偽農業生産用資材、偽薬品、偽食品など2500万点の模倣品が焼却処分された。
(11月7日 サーチナ)
- 江蘇省常州市天寧区の運送会社で、所属する複数の運転手が、トラックから燃料を抜き取って外部に転売していたとして逮捕された。
(10月27日 サーチナ)

【暴動・デモ】

- 浙江省湖州市で、服飾加工業者と税金徴収係官との口論をきっかけに大規模な暴動が2日連続で発生し、28人が公安当局に身柄を拘束された。
(10月28日 サーチナ)

【環境】

- 湖北省荊州市で、鋼鉄再生産工場が劣悪な生産設備によって公害を引き起こしているとして、大学教授や学生数十名が同工場の操業停止を求めて、同市役所などで土下座による請願を行った。請願の3日後に、区政府が当該工場への送電を停止した。
(11月4日 サーチナ)
- 中国の各地で有毒物質を含む濃霧(スモッグ)が発生しており、呼吸器障害の多発や、道路の見通しの悪化など、市民生活にも深刻な影響が及んでいる。
(11月3日 サーチナ)

- 華北平原で、地下水の過剰なくみ上げによる地盤沈下が深刻化している。20 センチメートル以上の地盤沈下が発生した区域は 6 万平方メートルを超えており、特に北京、天津、滄州などで最も深刻となっている。

(10 月 25 日 サーチナ)

- 広東省人民代表大会で発表された調査結果によると、同省内のごみ焼却場から排出される煙のうち、無害化处理をされているのは三割程度にとどまり、大部分が重金属やダイオキシンを含んだまま放出されている。

(10 月 19 日 サーチナ)

【その他】

- 国際通貨基金 (IMF) が、中国の金融システム安定性評価書の中で、「金融システムは健全だが、もろさも増しており、一段の改革が必要」と指摘。

(11 月 15 日 時事通信)

- 米国の雑誌『Forbes』の調査によると、A 株上場の民営企業のうち 3 分の 1 近くは同族企業であり、同族企業でない企業に比べて業績は良いが、2 代目経営者の業績は 1 代目に及ばないことが分かった。

(11 月 15 日 サーチナ)

- 北京市政府は、街の治安維持に当たる「都市管理執法局」(城管) を格上げし、治安権力を強化。横暴さに不満も。

(11 月 12 日 時事通信)

- 中国共産党の中央委員会全体会議で採択された決定の中で、インターネット、特に SNS やチャット、ツイッター等に関する監督管理の重要性が示された。

(10 月 27 日)

- 中国は糖尿病患者が世界でもっとも多い国で、患者数は 9240 万人に達するが、近年は低年齢化の傾向が著しい。

(11 月 15 日 サーチナ)

- 浙江省温州市や江蘇省で中小企業社長が失踪、あるいは自殺し、資金がショート、企業の倒産や従業員賃金の未払い、債権焦げ付きなどが連鎖的に発生している。民間貸出が背景にあり、当局でも民間貸出の実態把握に努め始めている。

(10 月 18 日 サーチナ)

株式会社インターリスク総研は、MS&AD インシュアランスグループに属する、リスクマネジメントに関する調査研究およびコンサルティングを行う専門会社です。中国進出企業さま向けのコンサルティング・セミナー等についてのお問い合わせ・お申込み等は、下記の弊社お問い合わせ先、または、お近くの三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保の各社営業担当までお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先

(株)インターリスク総研 コンサルティング第二部

TEL.03-5296-8918 <http://www.irric.co.jp/>

瑛得管理諮詢（上海）は、中国 上海に設立されたMS & ADインシュアランスグループに属するリスクマネジメント会社であり、お客様の工場・倉庫等へのリスク調査や、BCP策定等の各種リスクコンサルティングサービスを提供させて頂いております。お問い合わせ・お申し込み等は、下記の弊社お問い合わせ先までお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先

瑛得管理諮詢（上海）有限公司（日本語表記：インターリスク上海）

上海市浦东新区陆家嘴环路1000号 恒生銀行大廈24楼142室

TEL:+86-(0)21-6841-0611（代表）

本誌は、マスコミ報道など公開されている情報に基づいて作成しております。

また、本誌は、読者の方々および読者の方々が所属する組織のリスクマネジメントの取組みに役立てていただくことを目的としたものであり、事案そのものに対する批評その他を意図しているものではありません。

不許複製 / Copyright 株式会社インターリスク総研 2011